



# 広報いしかわ

Ishikawa Prefecture

テレビ広報

北陸放送 【ほっと石川】 近日放送  
10月24日(土) PM5:15~5:30

石川テレビ 【ウイークリーいしかわ】  
毎週日曜 PM5:25~5:30

テレビ金沢 【ぶんぶんセブン】 近日放送  
10月25日(日) AM7:00~7:30

北陸朝日 【石川ほっとニュース】  
毎週土曜 PM5:55~6:00

ラジオ広報 【県からのお知らせ】  
毎週火・金曜 PM2:30ごろ (3分間)

北陸放送 【素敵にモーニング】  
毎週日曜 AM9:55~10:00

公式SNS

ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/> Eメール [e130500b@pref.ishikawa.lg.jp](mailto:e130500b@pref.ishikawa.lg.jp) 行政相談 TEL:076(225)1100 ※広報いしかわ内の料金は全て税込み表示です。

# 国立工芸館が10月25日に開館!

日本海側初の  
国立美術館が誕生

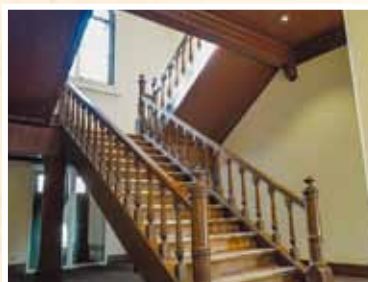
地方創生を推進するための政府関係機関の地方移転のモデルケースとして、2016(平成28)年に、工芸を専門とする唯一の国立美術館である東京国立近代美術館工芸館の本県移転が決定。建物の整備などを経て、今般、通称を国立工芸館として開館することになりました。工芸館が所蔵する日本芸術院会員や重要無形文化財保持者(人間国宝)の全ての作品約1,400点を含む約1,900点が移転されます。工芸文化の魅力を、この地から国内外に発信していきます。



左:第九師団司令部庁舎 右:金沢銀行社

## 建物

明治期に建てられた国の登録有形文化財である旧陸軍の第九師団司令部庁舎と金沢銀行社を移築・活用。本県出身の工芸界の巨匠・松田権六氏の工房も移設。



重厚感のあるケヤキづくりの階段



松田権六氏の工房展示



格子状の天井やシャンデリアを復元した多目的室

## 屋外展示作品

金沢美術工芸大学の客員教授である橋本真之氏が10年かけて制作した国内最大級の金工作品



橋本真之《果樹園-果実の中の木もれ陽、木もれ陽の中の果実》1978年~1988年

高さ3メートルを超す国内最大級の陶磁作品



金子潤《Untitled(13-09-04)》2013年

## 名誉館長



元サッカー日本代表  
中田英寿氏が就任

## 石川移転開館記念展I

「工の芸術-素材・わざ・風土」

会期:10月25日(日)~来年1月11日(月・祝)

内容:「素材・わざ・風土」に着目し、近代日本工芸の名作約130点を展示

観覧料:一般500円、大学生300円

高校生以下および18歳未満無料

## オンライン予約受付中

《日時指定予約について》

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日時指定・定員制を導入。

日時予約はこちらから [www.momat.go.jp/cg](http://www.momat.go.jp/cg)

※会場内混雑時には入館までお待ちいただく場合があります。

※オンライン予約が難しい方向けに、当日のみ有効の日時指定券を各日若干枚数をご用意します。

鈴木長吉《十二の鷹》(部分)1893年  
重要文化財 写真:エスアンドティ フォト松田権六(人間国宝・文化勲章)  
《蒔絵螺鈿有職文笠》1960年  
東京国立近代美術館蔵 写真:森 善之富本憲吉(人間国宝・文化勲章)  
《色絵金銀彩羊歯文八角飾箱》1959年  
東京国立近代美術館蔵 写真:森 善之

毎日、日没から22時まで行うライトアップでは、明治期の洋風建築の意匠を照らし出しています。



## ○県立美術館 秋季企画展

「いしかわの工芸 文化の深み~わざの美 表現の美~」

会期:11月8日(日)~12月20日(日) 会期中無休

観覧料:一般600円、大学生500円、高校生以下無料

お問い合わせ:TEL 076(231)7580 〒920-0963 金沢市出羽町2-1

## 兼六園周辺文化の森 における企画展

## ○いしかわ生活工芸ミュージアム

「-国際漆展・石川2020企画展-「いしかわの漆products」「世界の漆」」

会期:10月16日(金)~12月7日(月) &lt;11月19日(木)、12月3日(木)は休館&gt;

入場料:1階無料、2階有料(18歳以上260円、65歳以上210円、18歳未満100円)

お問い合わせ:TEL 076(262)2020 〒920-0936 金沢市兼六町1-1